



300人が受講した技術講習会  
＝鹿児島市の県市町村自治会館で

## 環境土木に有効利用

### ミラクルソル協会技術講習会

ミラクルソル協会（原  
裕理事長）主催の技術講  
習会（CPDS認定）が  
10日、鹿児島市の県市町

村自治会館であった。出席した官公庁職員や建設業者ら約300人は、環境土木等に有効利用できる発泡廃ガラス材「ミラクルソル」の工法等について知識を深めた。後援は廃棄物学会、県建設業協会、県測量設計業協会、県斜面工法研究会。講師を務めた同協会の原理事長と荒木宏之顧問（佐賀大学教授）は、「廃ガラスを再資源化した多目的環境材料を用いた土木技術」などと題し講演。ミラクルソルの特徴や各種工法等について解説した。

ミラクルソルは、廃ガラス等から作られた地球

環境にやさしいリサイクル製品。建設廃材が再利用でき、有害物質の溶出もないため環境負荷も低い。また、斜面や岩盤緑化の保水材のほか水質浄化にも活用できるなど、各分野での有効利用に期

待が集まっている。なお同日は、国土交通省九州地方整備局企画部の的場眞二技術調整管理官による「公共事業に関する最近の話題」と題した特別講演もあった。

#### 原理事長

#### 循環型社会の形成に

ミラクルソルは、最終



原裕理事長

処分場の延命策や循環型環境社会の形成にも役立つ。特に建設分野においては、自然を破壊しない環境に配慮した廃棄物の有効利用と、環境の保護・保全および創出につながる新しい技術や工法を今後も継続して開発・提案していきたい。